

国立大学法人島根大学役員会（第389回）〈議事要録〉

日時 令和5年2月21日（火） 14:00 ～ 15:20
場所 本部棟5階 大会議室（TEAMS 利用）
出席者 服部学長，藤田理事，肥後理事，大谷理事，椎名理事，藤波理事，上野理事，
宮脇理事
オブザーバー 千家監事，栗原監事
欠席者 なし
〔陪席：企画部長，研究・地方創生部長，教育・学生支援部長，総務部長，財務部長
松江地区学部等事務部長，医学部事務部長，監査室長〕

議決事項1 特定個人情報等の適正な取扱いに関する基本方針の一部改正及び特定個人情報取扱規則の廃止・制定について

議決事項2 独立行政法人等非識別加工情報の提供に関する要項の廃止及び行政機関等匿名加工情報取扱規程の制定について

議決事項3 個人情報開示等取扱規程の一部改正について

- 議題1～3については関連が深いので、一括で審議した。
- 藤田理事から特定個人情報等の適正な取扱いに関する基本方針の一部改正及び特定個人情報取扱規則の廃止・制定，独立行政法人等非識別加工情報の提供に関する要項の廃止及び行政機関等匿名加工情報取扱規程の制定並びに個人情報開示等取扱規程の一部改正について説明があった。
- 千家監事から，個人情報取扱規則第53条において「別に定める」と規定されている，学術研究目的で行う個人情報の取扱いに係る学内規則等の検討状況について質問があり，藤田理事から，他大学の状況を確認したところ現時点では規定化された例は無いが，今後も他大学の状況を注視しながら検討を進めていきたいとの回答があった。
- 審議の結果，原案どおり議決された。

議決事項4 松江事業場実験系廃棄物等及び排水等に関する管理規程の一部改正について

- 藤波理事から松江事業場実験系廃棄物等及び排水等に関する管理規程の一部改正について説明があり，審議の結果，原案どおり議決された。

議決事項5 令和5年度国立大学法人総合損害保険等の加入内容について

- 藤田理事から令和5年度国立大学法人総合損害保険等の加入内容について説明があり，審議の結果，原案どおり議決された。

協議事項1 定期モニタリングの実施について（CO2排出削減の対応）

- 藤波理事から定期モニタリングの実施について（CO2排出削減の対応）説明があった。
- 服部学長から企業における取組事例等について上野理事及び宮脇理事に質問があり，上野理事から太陽光パネル設置による自家発電設備の導入について，続いて宮脇理事から冷暖房効率の高い空調機器への更新及びエアコンの温度設定の統一について事例紹介があった。
- 宮脇理事から，CO2削減に効果があるものは色々あるが，費用もかかるため，本来の大学としての活動を妨げないよう費用対効果を考慮したうえで取り組んでいくことが必要との意見があった。
- 千家監事から，東京大学の統合報告書において，CO2排出量を算定したうえでCO2削減の長期的な計画を立てており，太陽光パネル設置やペットボトルに代わるウォーターサーバー

設置等の検討を開始したことが記述されている、また以前には演習林におけるCO₂吸収率を計算し可視化していたとの紹介があった。

- 藤波理事から、本学の演習林についても面積当たりの吸収率は確認しているため、CO₂削減の項目として挙げられるのではないかとの発言があった。
- 椎名理事から、医学部での事例として、附属病院では温度管理が重要であるため、毎日定刻に放送を行い、所定の設定温度にするよう指導していること、生物資源科学部で開発された食品廃棄物の肥料化の装置を医学部の食堂で導入したことについて紹介があった。

報告事項1 令和4年度実施大学機関別認証評価 評価結果(案)について

- 肥後理事から令和4年度実施大学機関別認証評価 評価結果(案)について報告があった。
- 服部学長から、今回の評価を通じて、前回と比較して非常に厳しくなったと感じており、今回基準を満たしていると評価されたものであっても次回どうなるか分からないため、中教審等の動きを見ながら大学改革を進めていく必要があるとの発言があった。

報告事項2 第3期中期目標期間終了時評価(案)について

- 肥後理事から第3期中期目標期間終了時評価(案)について報告があった。

報告事項3 地方大学・地域産業創生交付金「展開枠」の採択について

- 大谷理事から地方大学・地域産業創生交付金「展開枠」について島根県から申請していたところ採択の評価を受け、今後3月中旬頃に交付額の内示が予定されているとの報告があった。

報告事項4 附属病院運営状況について

- 椎名理事から附属病院運営状況について報告があった。

報告事項5 全学委員会の議事報告について

- 書面による報告があった。

その他

- 宮脇理事から、自分の意見等を自らの言葉で相手に明確に伝えるための社会人としての基礎的な力は大学生の時に培われることが多く、今後デジタル化が進んでいく中であっても、実際の人間関係の中でコミュニケーション能力を鍛えていくことが重要であるとの意見があった。
- 上野理事から、先般の大雪に伴う授業実施の有無や施設被害等について現行の緊急時対応のルールで問題なく管理出来ていたか検証し、不十分なものがあれば見直しを検討するなどにより今後の有事の対応に生かして欲しいとの意見があった。
肥後理事から授業実施の有無について、この度はJRが運休となったことにより、本学で定めている休講措置に関する取扱いに沿って休講としたとの発言があり、続いて藤波理事から風雪の影響によりエアコン室外機の故障事例があり修理対応済であるとの発言があった。
藤田理事から授業について現行の取扱いでは大雨警報発令のみでは休講とはならないが、線状降水帯等の関係で洪水や道路損壊等甚大な被害が生じる場合もあるため、対応を検討しておいた方が良くはないかとの意見があり、肥後理事から状況に応じて臨機応変に対応できるように、今後対応を整理したいとの発言があった。

上野理事から休講となった場合の学生や教員への連絡手段について質問があり、肥後理事から休講が想定される場合には前日からホームページ上に休講の判断基準等の情報を掲載し、気象情報等を確認するよう案内しているとの回答があった。

宮協理事から自治体や教育委員会が気象災害により休校を判断する際に警察の権限が関わってくることはないかとの質問があり、肥後理事から確認するとの発言があった。